



岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

令和 2年 3月 31日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ 株式会社「イノベーション・ラボ」

団体名

所在地

連絡先

フリガナ

代表者氏名

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	建部地域伝統芸能伝承事業
事業実施区域 (小学校区)	建部小学校区 竹枝小学校区 福渡小学校区
①事業実施内容	  ● 7～8月 各保存会で実施準備会議 ● 9月より練習開始 ● 10月各戸訪問し、お祓いと演舞並びに秋祭り ● 11月建部町文化祭で獅子舞の演舞 ● 11月御津獅子舞フェスタで演舞 ● 元旦、吉備津彦神社での獅子舞の演舞 ● 岡山市地域協働フォーラム発表 ● 2月めだかの学校の環境学習で棒遣いの披露

②解決を目指した課題	《伝承活動》 ● 中山間地域の課題である、少子高齢化の中での事業を継続する。 ● この事業に参加している12の保存会が欠ける事無く継続している。 ● 各保存会で一人でも多くの小・中・高校生が参加し、後継者の育成を進める。 ● 移住者にも保存会の意義を説明して、地域の事業に積極的に参加してもらえ、環境造りを行う。 《広報活動》 ● 伝統芸能を意義、必要性をアピールするため、地域のイベント等に積極的に参加する。 ● 地域外へ活動範囲を拡げ、積極的に事業の広報活動を進める。 《地域の活性化》 ● 村廻り等の伝統的行事を継続する事により、地域の人・物・環境の実状を知り、地域のコミュニケーションの維持と活性化を目指す。
③目的・目標の達成状況	《伝承活動》 ● 少子高齢化の中での事業の継続がこれまで通りにできた。保存会の12団体とも祭に関しては夜毎の練習を重ね、活気ある活動ができた。 ● 消耗品は各保存会毎に購入しているが、伝統を守る意味からも草鞋など地元で用意できるものは地元で揃えることも必要である。各保存会の現状の情報交換を行い、笛などの製作情報が得られた。 《広報活動》 ● 昨年より御津獅子舞フェスタでの演舞等、隣接地との交流を継続できている。また建部地区の紹介により、御津地区の団体が、津山地区の文化財保護委員研修会で発表する機会ができ、お互いに美作地域との交流の足掛かりができた。 ● 地域協働フォーラムに参加したことにより、県内の芸能保存団体の事業を聞く機会ができ、今後の情報交換や交流の足掛かりができた。 《地域の活性化》 ● 地元での理解と協力を維持していくために、それぞれの保存会とも各戸を回り玄関先でその家の五穀豊穡と繁栄を祈念して獅子舞や棒遣いの演舞を行っている。古き良き農村の風物詩の重要性と共に、今後発生が懸念されている災害等の有事の際、自助、共助の基礎となるコミュニケーションの在り方等を議論した。その結果、コミュニケーションを構築し、暮らしやすい町づくりを行うために、最も有効な活動であることを再認識した。 ● 各保存会の活動状況をアンケート調査し、優位点、課題を表面化させることができた。またそれにより、この活動が地域に与える効果を共有し、結束して事業を進めることの意義を共有化できた。

《伝承活動》

- 地区内の祭りや、イベントにに関しては継続した活動はできている。
- 町のイベントに限らず、各保存会の地区の行事や、私的な行事等でも演舞する機会があれば積極的に参加し、地域の文化であることを示すことに心掛ける。

《広報活動》

- めだかの学校での棒遣いの演舞、吉備津彦神社の元旦祭で獅子舞の演舞、御津獅子舞フェスタ参加などの事業は広報活動として継続して行っている。
- 最近では獅子舞等の価値について、巷の話題となる事も多くなっている様に感じられる。情報発信の一環として、山陽新聞やOniビジョン等のメディアに、活動の際にコンタクトと取り、取材してもらっている。
- 建部地区の紹介により、御津地区の団体が、津山地区の文化財保護委員研修会で発表する機会ができた。美作地域への情報発信に繋がり、永く途絶えていた情報交換や交流の足掛かりができた。

《地域の活性化》

- 地域協働フォーラムにおいて、建部の伝承活動は、「地域の伝統文化を伝承することを基に、地域を活性化し、暮らしやすい町づくりを行うことである」と発表した。これが全会員の共通する目的であり、これからの活動の基本理念であることを共有した。

《伝承活動》

- 少子高齢化はさらに加速すると思われる。まずは現在の12団体が継続して活動できる様に、相互の協力体制を整備するために、問題点を出し合い共有する取り組みを行う。
- 小さい子供達にも練習などに参加したくなるような雰囲気作りを行い、この活動が子供たちの成長にとって大切なことであると理解して、協力してもらえよう働きかけの仕方も考えていく必要がある。
- イベント参加は、多くの費用が掛かるため難しい面がある。少なくとも経費以上の収入が得られる事業が求められる。そのための事業を模索する。

《広報活動》

- まずは関連した事業の県内の研修会や講演会、また関係イベント等に積極的に参加し、活動報告や演舞ができる機会を求める
- 地域協働フォーラムで、地元の学校で地域の文化を伝える教育をすべきと課題を挙げたこともあり、地元の小・中学校にアプローチを行う。
- 県内には、同様の活動団体もあるため、交流や協調した活動ができるように、情報収集とアプローチを行う。

《地域の活性化》

- 今年は、この事業は伝統芸能を伝承することにより、地域のコミュニケーションを豊かにし、また地域を活性化し、住みやすい地域造りに繋がるという意義を共有できた。今後は各保存会毎に、その地域に合った活動を展開する。
- 保存会活動の基本となっている3世代による活動こそが、地域の活性化に繋がることを信じ、各地域での活動や交流事業の基本として活動を推進する。

⑥事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善	● 一部保存会では、地域外の参加者が誕生し、またIターンの方の参加もできている。移住者の方の参加の経験をPR材料として、さらに継続して参加者を募り、地域の活性化を目指す。 ● 若者達の流出は社会的要素が大きく、地域のみで解決できない。従って、残った住民が地域を活性化させるためには、3～4世代にわたる住民が同じ目的で活動する保存会の伝承活動こそ、最も有意義な町内会活動の1つであると考え活動を続ける。 ● 昨年度から御津地区との交流が継続しているが、今年は地域協働フォーラムに参加した事により、県内の活動団体の情報も得られ、広報の足掛かりも増えた。 ● 連合町内会または学校区等の連携により、小学校の発表会等で活動発表ができればと期待している。また地域の文化や歴史の教育の機会が得られるようにアプローチする。 ● 地域の文化、歴史を地元の学校の教育の中に取り込んでもらうにする。		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="256 763 957 2002"> ○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容 《助言内容》 ● 後世へつなぐための、方法等を話し合う。 ● Webサイトの立ち上げはいかがか。 ● 子供を含む次世代への具体的な継承活動。 ● 町内会との関わりに付いて。 《回答》 ● 地域の小、中学校では、地域の文化、歴史を教育する時間をとるべきであり、また発表会等で発表する機会を与えるべきであると、全員一致した意見が得られた。 ● 参加保存会にアンケート調査を行い、それぞれの課題や優位点を共有した。それにより、今後の相互の協力体制を築いていく。 ● 自会のWebサイトでは無いが、会員が「建部新聞」のサイトを公開しており、連携して対応している。 ● 子供達へは伝統を守る伝承活動と合わせ、地域に貢献してきた達成感を感じてもらうために、地域外のイベント等で発表できる機会を与える。 ● 建部町の各保存会は、町内会の役員を主に構成された団体であり、町内会の活性化、世代を超えたコミュニケーションの重要性を認識する、最重要な活動の一環と位置付けて活動している。 </td><td data-bbox="957 763 1412 2002"> 助言等の内容について、改善ができましたか。 I できた ②II おおむねできた III 一部できなかった IV まったくできなかった V 改善意見がなかった </td></tr> </table>	○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容 《助言内容》 ● 後世へつなぐための、方法等を話し合う。 ● Webサイトの立ち上げはいかがか。 ● 子供を含む次世代への具体的な継承活動。 ● 町内会との関わりに付いて。 《回答》 ● 地域の小、中学校では、地域の文化、歴史を教育する時間をとるべきであり、また発表会等で発表する機会を与えるべきであると、全員一致した意見が得られた。 ● 参加保存会にアンケート調査を行い、それぞれの課題や優位点を共有した。それにより、今後の相互の協力体制を築いていく。 ● 自会のWebサイトでは無いが、会員が「建部新聞」のサイトを公開しており、連携して対応している。 ● 子供達へは伝統を守る伝承活動と合わせ、地域に貢献してきた達成感を感じてもらうために、地域外のイベント等で発表できる機会を与える。 ● 建部町の各保存会は、町内会の役員を主に構成された団体であり、町内会の活性化、世代を超えたコミュニケーションの重要性を認識する、最重要な活動の一環と位置付けて活動している。	助言等の内容について、改善ができましたか。 I できた ②II おおむねできた III 一部できなかった IV まったくできなかった V 改善意見がなかった
○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容 《助言内容》 ● 後世へつなぐための、方法等を話し合う。 ● Webサイトの立ち上げはいかがか。 ● 子供を含む次世代への具体的な継承活動。 ● 町内会との関わりに付いて。 《回答》 ● 地域の小、中学校では、地域の文化、歴史を教育する時間をとるべきであり、また発表会等で発表する機会を与えるべきであると、全員一致した意見が得られた。 ● 参加保存会にアンケート調査を行い、それぞれの課題や優位点を共有した。それにより、今後の相互の協力体制を築いていく。 ● 自会のWebサイトでは無いが、会員が「建部新聞」のサイトを公開しており、連携して対応している。 ● 子供達へは伝統を守る伝承活動と合わせ、地域に貢献してきた達成感を感じてもらうために、地域外のイベント等で発表できる機会を与える。 ● 建部町の各保存会は、町内会の役員を主に構成された団体であり、町内会の活性化、世代を超えたコミュニケーションの重要性を認識する、最重要な活動の一環と位置付けて活動している。	助言等の内容について、改善ができましたか。 I できた ②II おおむねできた III 一部できなかった IV まったくできなかった V 改善意見がなかった		

⑧事業実施経過

※時系列に沿ってご記入ください。事業実施のための準備や打ち合わせ会合日などもご記入ください。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

年 月 日	内 容
5 月 19 日	役員会
5 月 26 日	平成 30 年度建部町伝統芸能伝承保存会定例総会、並びに連絡会議
9～10 月	各保存会にて打ち合わせ、練習、指導
10 月 4 日	津山市文化財保護委員研修会、御津地域と共同参加
10 月 5 日	練習取材
10 月中旬	各保存会にて村廻り、秋祭りへの奉納
10 月 20 日	祭り取材
11 月 3 日	御津公民館祭 獅子舞フェスタに、中田上之町魁組神楽保存会が出演
11 月 2 日	各保存会に会計処理のお願い文を配布
11 月 17 日	建部町文化祭に、和田神社棒遣い並びに神楽保存会一志社が出演
11 月 20 日	臨時総会、地域協働フォーラムに付いて協議、並びに連絡会議
12 月 22 日	役員会
1 月 元旦	吉備津彦神社での獅子舞演舞
1 月 12 日	臨時総会、並びに連絡会議
1 月 19 日	岡山市地域協働フォーラム参加
2 月 24 日	めだかの学校の環境学習にて棒遣いの演舞
3 月 8 日	審査会
3 月 日	会計監査

⑩ 収 支 決 算 書

令和元年度

◆収入

単位：円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	440,000	440,000	
実施団体負担金	438,000	438,000	@36,500×12団体
参加負担金			
協賛金			
寄附金・他収入	2,000	2,546	
預金利息			
計	880,000	880,546	

◆支出

単位：円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 訳
①消耗品費	468,000	513,730	草鞋代、足袋代、コピー用紙・インク、その他
②食糧費	44,000	23,366	お茶・ジュース等（練習・会議用）
③印刷製本費	4,000	4,190	コピー代
④燃料費	1,000	0	軽トラガソリン代
⑥通信運搬費	2,000	4,145	切手代
⑧手数料	161,000	146,012	クリーニング代（帯、袴等）
⑨使用料	10,000	84,750	会場使用料等
⑩原材料費	121,000	10,713	リボン、綿代 他
⑪委託料	0	35,640	衣装仕立て代他
⑬報酬費	66,000	58,000	指導者謝金
⑭保険料	3,000		
計	880,000	880,546	